



なごみ子ども出版社の皆さん：  
左から古閑原ゆなさん（三加和小6年）、柳原拓巳さん（菊水中3年）、砂川昌葉さん（菊水中3年）、池田暁春さん（三加和中3年）



## 和水町のガイドブックを作成

和水町に住む子どもたちが、架空の会社「なごみ子ども出版社」を作り、子どもならではの視点で和水町のガイドブックを製作しました。ガイドブックの名前は、彼らの頭文字を取って「KT<sup>2</sup>SAY」。

この企画は、菊池川流域の恵み体験協議会が主催。町内の小学生2人、中学生3人、菊池農業高校の生徒1人が社員となり、昨年の10月から取材や編集を始めました。ガイドブックには、「山太郎祭」のようすや子どもたちのおすすめスポットが掲載されています。

残念ながら、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、予定されていた出版記念パーティーは開催されませんでした。保護者向けに「出版記者会見」が開催されました。その会見で、柳原拓巳くんは、「今回の企画を通して、文をうまくまとめて人に伝えることはとても難しいと感じたので、もっと勉強して将来に活かしていきたい」と語りました。ガイドブックは町内や近隣の市町の施設などで配布予定です。

## 協力隊活動記 Vol.31

こんにちは、協力隊の松下です！昨年の10月から進んでいたプロジェクト「なごみ子ども出版社」の保護者向けの記者会見が3月に開催されました。僕は、情報発信担当の地域おこし協力隊として、子どもたちの取材などの手伝いをしました。

まずは、この企画があるという情報を入手して、実際に参加するという行動がとても大切な経験だったのではないかと思います。そして、自分が住んでいる町をいつもと違う角度で改めて見るという経験もいつか大切な財産になるのではないかなと感じながら、子どもたちと活動をしました。社員の皆さん、本当にお疲れさまでした。

## 放課後児童クラブ施設が開所 安心・安全な学童保育の運営を

4月1日、菊水小学校西側の町有地（旧三ツ矢電子跡地）に昨年度竣工した、放課後児童クラブ施設の開所式が行われました。この施設は、保護者が労働などにより昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対して、児童の健全な育成を図るとともに、遊びや生活の場を提供することで保護者の子育てを支援することを目的に建設されました。

式では、高巢町長が児童や支援員へ祝辞を述べた後、今年度クラブの運営を行う一般社団法人SE Pの代表理事 佐藤祐介さんが「安心・安全な学童保育の運営を行いたいと思います」と、これからの意気込みを述べました。



開所式の様子

## きよくじつ たん こうしょう 旭日単光章を受章 高齢者叙勲

4月7日、旭日単光章を受章した松尾友則さん（88歳）に、勲章が伝達されました。高齢者叙勲とは、地方自治の育成発展に貢献し、年齢88歳に達した功労者に対して授与されるものです。

松尾さんは、平成3年に旧三加和町議会議員に当選して以来、永きにわたり旧三加和町議会議員および議長の職を務め、当町の発展に大きく貢献されました。

また、30歳から56年間猟友会に所属し、理事を永年務めるなど、数々の功績が認められ、このたびの受章となりました。

松尾さんは、「これからも町のために貢献していきたいです」と話しました。



旭日単光章を受章した松尾友則さん

## 人権擁護委員再任 お世話になります

4月10日、人権擁護委員の委嘱式が行われました。4月1日付けで、松尾憲成さん（山十町）が再任されたことによるものです。人権擁護委員は、法務大臣から委嘱を受けた民間のボランティアで、任期は3年です。松尾さんは、引き続き人権についての啓発活動や人権相談などの活動に取り組みます。



再任された松尾憲成さん(写真中央)